

霞ヶ浦の概況について

1 特徴

- ・ 霞ヶ浦は、茨城県、栃木県及び千葉県の一部を流域とする日本で2番目に大きな湖。
- ・ 水深が浅く、湖水の滞留時間も長いことから、湖水が汚濁しやすい性質を持つ。
- ・ 霞ヶ浦流域は、茨城県の面積の約35%を占めている。
- ・ 飲料水をはじめ、農業用水、工業用水にも利用されており、水瓶としての性質を持つ。
- ・ 畜産業、漁業も盛んであり、サイクリングコースも整備されている（りんりんロード）ことから観光面でも利用されている。

2 位置



3 諸元等

流域面積	2, 157 km ²
湖面積	約220 km ² (西浦168.22 km ² 、北浦35.04 km ² 、常陸利根川15.33 km ²)
水深	(平均) 4 m (最大) 7 m
貯留量	約8.5億 m ³
平均滞留日数	約200日
流域人口	937.3千人(令和2年度末)
利水	上水、工業用水、農業用水